

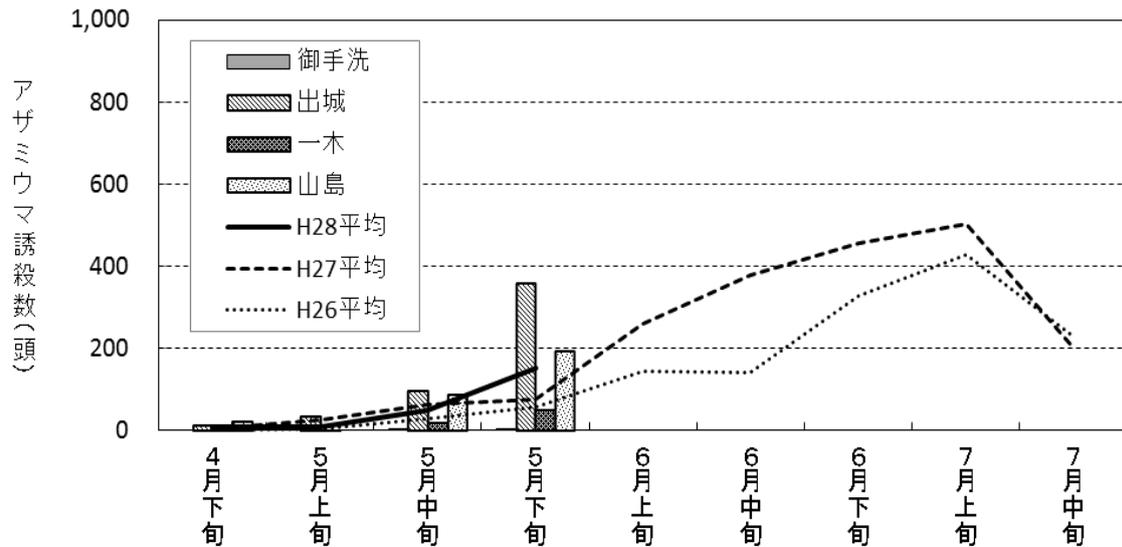


# トマト管理情報 ～アザミウマ注意報～

平成28年6月2日  
J A松任・石川農林

## 1 アザミウマ対策

野外でのアザミウマ類の誘殺数は H25 以降最も多かった昨年を上回る勢いで増加しています。例年アザミウマは6月中旬～7月上旬にかけて発生のピークを迎えており、今後さらに増加する可能性が高いです。防除をしっかり行い、後半の果実被害を防ぎましょう！



<現在、見かけるアザミウマ被害果実>



開花期に子房に産卵された白ぶくれ果



果実表面の食害跡



(拡大)

色が進むと目立つ

<防除薬剤例>

系統	農薬の名称	成分数	マルハバチ影響	希釈倍率	使用時期	使用回数
スピノシン	ディナ SC	1	1	2,500倍	前日	2
スピノシン	スピノース顆粒水和剤	0	3	5,000倍	前日	2
呼吸酸素阻害	コテツフロアブル	1	9	2,000倍	前日	3

## 2 灰色カビ病、すすかび病対策

5～6 段の葉先枯れ部分や、花殻部分から灰色かび病の発生が見られます。また、生育期後半になり樹勢が低下するとすすかび病が発生する可能性が高くなります。

### <防除薬剤例>

系統	農薬の名称	予防 治療	成分数	対象病害		希釈倍率	使用 時期	使用 回数
				灰かび <sup>※</sup>	すすかび <sup>※</sup>			
ベンズイミダゾール N-フェニルカーバメート	ゲッター水和剤	治療	2	○	(○)	1,000 倍	前日	5
ジカボキシミド <sup>※</sup>	ロブラル水和剤	治療	1	○	—	1,000 倍	前日	3
有機塩素	タニコール 1000	予防	1	○	○	1,000 倍	前日	4
ゲアジソン	ベルコートフロアブル	治療	1	○	○	2,000 倍	前日	3

(○)：登録は無いが、登録病害の防除と同時に防除効果が期待できる

～ 農薬の使用に際しては、ラベルの記載内容をよく確認して下さい ～

## 3 高温・裂果対策（半促成トマトの後半、夏秋・抑制トマトの前半）

### (1) 遮光（最高気温が 30℃を下回る 9 月上旬まで実施）

- ・遮光率 30% 程度の遮光ネットをハウス外側に設置。※内側設置よりも遮熱効果あり
- ・遮光用塗布剤の利用。※ハウスビニルへのクレフノン 30～50 倍（木工用ボンド 70～100 倍加用）やクールコート 8 倍散布など
- ・遮光の設置(除去)作業はは下図の黄色の期間中に、前後の天候を見計らって行いましょう。

6/20 頃	7/24 頃	8/20 頃	9/5 頃
遮光可 (この期間に設置)	遮光必要	遮光可 (この期間に除去)	

6/20 頃～7 月中旬 … 梅雨の中休みで猛暑日となることがある。

7/24 頃～8/20 頃 … 梅雨明け後の本格的な夏。この期間は日平均気温が 27℃を超える日が続く。

8/20 頃～9/5 頃 … 日々気温が低下し始める。9 月に入ると日照も減少し、稲刈りも忙しくなるので早めに遮光資材を外しましょう。

### (2) やや強めの草勢管理

- ・幼果期（4 cm 前後）以降、果実肩部に強日射が当たらないよう、上部の葉を茂らせ（摘心後は邪魔にならない程度に半放任）、葉で日除けをする。
- ・3 段開花期以降は、草勢を落とさないよう摘果やこまめな追肥を心がける。

### (3) かん水

- ・追肥開始以降は、土壌水分の急変を防ぐためかん水は「少量多回数」とする。
- ・高温乾燥時は、午前中に通路散水しハウス内の空中湿度を保つ（夕方には乾く程度）。  
※高温乾燥で下葉は巻きやすく、新葉は伸びにくくなるので、湿度を保つ管理を心がける。

### (4) 妻面換気

- ・ビニル張り替え時など、適宜、妻窓の設置を進めましょう。

### (5) 地温上昇防止

- ・白黒 W マルチやタイベック、敷きわら、モミガラの利用。

### (6) 尻腐果対策

- ・定期的に成長点～開花花房、幼果を中心にカルシウム剤の葉面散布。